

こっこめ通信 09 2017

「山も海も星も虫もクラフトも」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

先月号で話題にした7月の降水量ですが、結局、月降水量が2.5mmしか降らず、1906年6月からの統計での最少記録となりました。8月も前半は台風5号の影響で降水量の多い日がありましたが、それ以外の日は少なくなっています。今年は局所的に大雨の降っている地域が多いですが、八丈島は例外のようです。9月以降そのツケが台風と共にやってくるのではないかと少しビクビクしています。台風発生しないで！

さて、今回は「山の日トレッキング！」「夏休み特別行事の様子」についてのお話です。

山の日トレッキング！

毎年8月の第一日曜日に開催していた「三原山縦断トレッキング」ですが、今年は2016年に新設された山の日8月11日に開催しました！

トレッキングのスタートは防衛道路から無線の道へ上る標高350m地点。ここまでは車で移動します。そこから無線の道を上り、三原山の尾根道から三原山山頂700mまで行き、電波塔付近で昼食です。お昼を食べた後は三原林道を下り、途中から山道に入り唐淹へ。唐淹からの下山途中に硫黄沼に立ち寄り、標高200m付近がゴール。総距離8.4kmのコースです。(右ルート地図)

前日から低い雲に覆われ、当日の天気予報は曇りのち晴れ、出発前のビジターセンターからは三原山は雲に隠れ見えませんでした。

スタート地点からの上りは雲に覆われていたため湿度が高く、少し上っては水分を補給、補給した水分はすぐに汗で出てしまい、再度水分を補強するの繰り返し。ようやく山頂付近の尾根道に出ると雲の切れ目から山頂が見えましたが、下界は全く見えず。一瞬の間を見て、笑顔で記念撮影してみました。

舗装路の三原林道では道路脇の花や実を探し、季節外れのカキランやシマホタルブクロも見られました。三原林道から唐淹への道は冒険感あふれるむかし道。入口は見えず、みんなビクビクしていました。唐淹に着く頃には青空も見え始め、あと半日、天気はずれて欲しかったです。参加者全員、8.4kmを怪我も無く無事に歩ききりました。歩き終わってみんなの感想は「明日が怖い」でした。



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

夏休み特別行事の様子



夜の昆虫観察会 (7月29日 参加者21名)

7月は雨がまったく降っていないが虫がいるのだろうか？と心配されましたが、たくさんの参加者がいろいろな虫を採集してくれました。サツマゴキブリが多かったですが、ハチジョウコクワガタやハチジョウトガリナナフシ、シモフリスズメなどの蛾もつけてくれました。昆虫ではないアマミサソリモドキやオオゲジ、ミナミヤモリでも盛りあがりました。ビジター前に設置したライトトラップは、過去最低の虫の数でしたが



潮だまり探検隊 (7月23日 参加者12名・8月8日14名)

毎年、夏休み中の大潮の日に開催しています。今年は黒潮が離れ、水位が低かったこともあり、いろいろな生きものが採集できました。1回目の開催時には、ハリセンボンやロウソクギンポ、ヨウジウオの仲間などいろいろな魚が採集できました。2回目の開催時には大きなジャノメアメフラシなど採集できましたが、魚はあまり採集できませんでした。参加者の目によって見つかる生きものが違うのも楽しみのひとつですね。



夏の星空観望会 (8月13日 参加者19名)

ここ数年厚い雲に悩まされて続けていた星空観望会。今年は全天が見えることはありませんでしたが、雲の切れ間からすばらしい流れ星がいくつも見られました。20時15分から20時45分までの30分間に10個ほどの流れ星がカウントでき、長い尾の流れ星が見えた時には拍手と歓声が上がっていました。西の空には国際宇宙ステーションの姿も見えました。観望会終了後には雲に覆われていたので、ラッキーな時間帯だったのかもしれない。



光るキノコを作ろう (8月20日 参加者9名)

光りを蓄えて光る“蓄光粘土”を使って光るキノコを作りました。まずは島の光るキノコの写真を見て、キノコによって形が違ったり、光る場所が違うことなどをお勉強。その後に粘土でキノコの形に作りました。中には自分で想像した不思議なキノコもありました。作ったキノコを見るための箱も作りましたが、粘土でキノコを作るよりも時間がかかり、「黒い箱の家を作ろう！」の行事のようになっていました。



海のモビールを作ろう (8月27日 参加者2名)

海岸で拾ってきた漂着物などを使ってモビールを作りました。島の子供たちは島内で魅力的なイベントがあったため申し込みがなく、観光でいらした2名の子供が参加してくれました。サンゴのかけら、ビーチグラス、カニの甲羅、フジツボ、貝殻などを針金やホットボンドで流木に付け、紐でバランスを取りながら作ります。このバランスを取るのに一苦労！市販のビーズを付けて、少し色鮮やかなモビールが完成しました。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 8 月 13 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 29 年第 8 回）参加者：沖山美，日野，青木，VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			31	ヘラバヒメジョオン	花	シダ植物		
1	アオツツラフジ	花	32	ホソバツルメヒシバ	実	1	アスカイノデ	
2	アオノクマタケラン	実	33	ママコノシリヌグイ	花	2	アラゲヒメワラビ	
3	アシタバ	花	34	メヒシバ	実	3	イシカグマ	
4	アメリカスズメノヒエ	花と実	35	ヤブガラシ	花	4	オオイタチシダ	
5	イガガヤツリ	実	36	ヤマイ	実	5	オオタニワタリ	
6	ウスベニニガナ	花と実	37	ヤマカモジグサ	実	6	オニヤブソテツ	
7	ウリクサ	花	38	ラセイトソウ	実	7	カニクサ	孢子葉
8	エノキグサ	実				8	タチクラマゴケ	
9	オオアレチノギク	花と実				9	タチシノブ	孢子葉
10	オオバコ	実				10	タマシダ	
11	オニタビラコ	花と実				11	トラノオシダ	
12	カタバミ	花と実	木本			12	ナチシケシダ	
13	カヤツリグサ	実	1	アカメガシワ	若い実	13	ノキシノブ	
14	カラムシ	花	2	イタピカズラ	実	14	ハチジョウカナワラビ	
15	コニシキソウ	花と実	3	イヌビワ	実	15	ハチジョウシダ	
16	コマツヨイグサ	花と実	4	エノキ	熟した実	16	ヒトツバ	
17	コミカンソウ	花と実	5	オオバヤシャブシ	実	17	ホシダ	
18	ザクロソウ	花と実	6	オオムラサキシキブ	実	18	マツバラン	
19	シマササバラ	実	7	ガクアジサイ	実	19	マメツタ	
20	シロバナマンテマ	実	8	カラスザンショウ	若い実	20	ウチワゴケ	
21	スズメノカラビラ	実	9	シチトウエビヅル	花	今回はシダ植物 20 種を含む 77 種の植物を観察しました。大きな巣を張ったスズミグモも見られました。		
22	タチスズメノヒエ	花と実	10	シマクサギ	花			
23	チチコグサモドキ	花と実	11	スダジイ	実の虫こぶ			
24	ツユクサ	花	12	タイミンタチバナ	蕾			
25	テリハノブドウ	実	13	テイカカズラ	実			
26	テンツキ	実	14	トベラ	実			
27	トウバナ	花と実	15	ハゼノキ	実			
28	ヒナギキョウ	花と実	16	ヒサカキ	実			
29	ヒメクグ	実	17	ヒメユズリハ	実			
30	ヒメヨツバムグラ	花と実	18	ホルトノキ	咲き残り			
			19	モッコク	蕾			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、潮だまりにいる「ロウソクギンポ」にスポットを当ててみたいと思います。



ロウソクギンポ *Rhabdoblennius nitidus*

イソギンポ科ロウソクギンポ属の魚。紀伊半島以南の南日本及び西部太平洋の熱帯域のとても浅い場所に分布しています。八丈島でも潮だまりなどで見ることができます。

眼状皮弁は 1 本で細長く、体は黄色みのある緑から茶色で白斑が多数あります。眼の下や口の上に黒いラインも入ります。

2017 八丈ビジターセンター 9 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			1	2 ガイドウォーク
3 ガイドウォーク	4	5 ○	6	白露 7	8	9 ガイドウォーク
10 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	11	12 ●	13	14	15	16 ガイドウォーク
17 ガイドウォーク	18 ガイドウォーク	19 ●	20	21	22	秋分 23 ガイドウォーク 八文学講座 「秋の植物観察会」
24 ガイドウォーク	25	26	27 ●	28	29	30 ガイドウォーク

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
9/10（13：30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座 「秋の植物観察会」

毎月行っている八文学講座。今月は、八丈プラザ公園周辺で秋の植物を観察します。
9/23（13：30～ 約1時間半） 中学生以上
八丈プラザ公園駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2017.9.1 第196号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

八丈島では人の通らない道はすぐに藪になってしまいます。今回のトレッキングの道も下見に行った時には通れる道ではありませんでした。小学生以上の参加なので、しっかりと刈らなければならず、15分で通れる道を作るのに2時間以上はかかりました。植物の生長はすごいですね。（高）